Graain

助成業務の「省力化・運用見直し」を考え始めたら読む資料

© itup corporation.

助成金支援を通じてより良い社会の構築

そのためにも研究、事業活動をされている方々への支援、
申請者の方々との**交流やコミュニケーションに充てる時間が重要**

しかし、他業務での課題や負担が多く
その余裕がないのが助成団体に多い現状

アナログ運用の現状

申請、審査データ管理

➡ 書類管理、郵送の手間、転記作業の負担、人的作業ミスが発生

進捗管理

➡ 応募・審査・結果報告の状況など段階ごとの状況が不透明

申請者とのコミュニケーション

➡ 申請の差し戻し対応、問い合わせ対応、各種通知など作業負担大

資料作成コスト

➡ 申請書類、審査用の資料作成など膨大な量かつ煩雑な作業の発生

個人情報漏洩のリスク

➡ 紙資料の紛失・消失
個人情報漏洩などリスク有

属人化

➡ 独自の運用によって作業が属人化し業務の分散や引き継ぎが困難

助成業務システム導入のメリット

申請、審査データ管理

➡ デジタル化による申請・審査データの一元管理で業務がシンプルに

進捗管理

➡ リアルタイムの進捗管理・表示、リマインドメール機能がサポート

申請者とのコミュニケーション

➡ お知らせ、メッセージ、各種通知の自動送付など豊富な機能がサポート

資料作成コスト

➡ WEB申請によるペーパーレス化
データ出力機能で作業負担を削減

個人情報漏洩のリスク

➡ データの暗号化など
十分なセキュリティ対策が前提

属人化

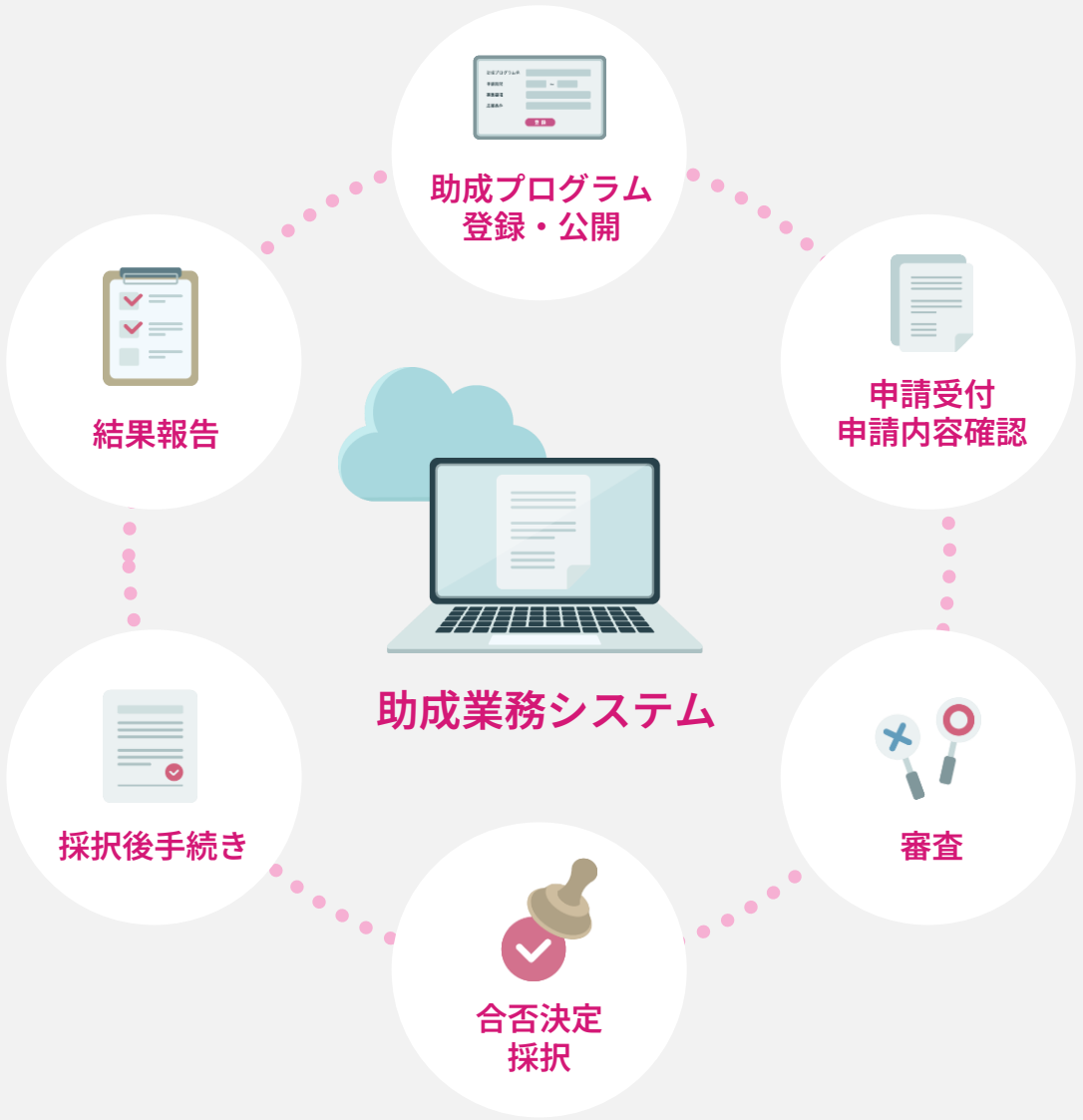
➡ システムによる運用フローの統一化
権限により誰でも担当できる環境

なぜ助成業務システムがいいのか

助成業務システムを導入し、
一連のフローを運用管理する

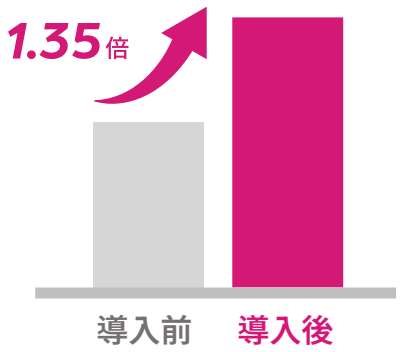
煩雑な助成業務がシンプルに
運用課題や負担を大幅に改善

申請者の方々とのコミュニケーションなど
本来取り組みたかった業務
に時間を充てることが可能に



導入効果（弊社サービス「SaaS 助成業務システム Graain」の例）

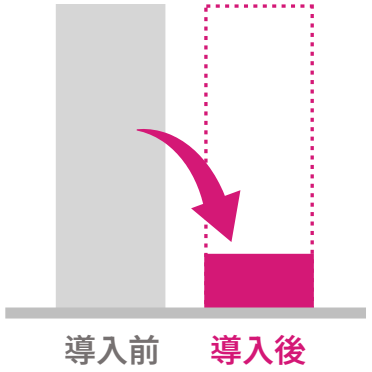
申請数



アナログから移行し利便性が大幅に向上

申請数が1.35倍に増加

事務局の業務負担



ペーパーレス化など助成業務を効率化

業務負担を80%以上削減

申請者の声

- 場所を問わずいつでも申請ができ、書面と比べて申請情報の作成にかかる時間も短縮できた
- 申請内容にミスがあった場合でも修正がし易く、財団とのコミュニケーションも取りやすかった

- 審査担当者との連携がスムーズに行えた
- 書面準備の必要がなく、申請情報や審査情報もシステム上だけで確認できるので大変便利

事務局の声

お役立ち情報

Graainの導入事例や
助成業務システム導入検討に関する
お役立ち資料を多数ご用意しております。
ぜひご活用ください。

お役立ち情報ページへ
https://www.graain.net/useful/

ご相談・お問い合わせ

疑問や不明点などがありましたら
お気軽にご相談・お問い合わせください。

ご相談・お問い合わせはこちら
https://www.graain.net/contact/

© itup corporation.